

現行日本史B科目

- (1) 原始・古代の日本と東アジア
ア 歴史と資料
イ 日本文化の黎明と古代国家の形成
ウ 古代国家の推移と社会の変化
- (2) 中世の日本と東アジア
ア 歴史の解釈
イ 中世国家の形成
ウ 中世社会の展開
- (3) 近世の日本と世界
ア 歴史の説明
イ 近世国家の形成
ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容
- (4) 近代日本の形成と世界
ア 明治維新と立憲体制の成立
イ 国際関係の推移と立憲国家の展開
ウ 近代産業の発展と近代文化
- (5) 両世界大戦期の日本と世界
ア 政党政治の発展と大衆社会の形成
イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会
ウ 第二次世界大戦と日本
- (6) 現代の日本と世界
ア 現代日本の政治と国際社会
イ 経済の発展と国民生活の変化
ウ 歴史の論述

資質・能力

- 我が国の歴史の展開について、歴史を構成する様々な要素から総合的に捉えた幅広い諸事象の理解
- 多様な資料を効果的に収集する、読み取る、まとめる技能

新必修科目で習得した「歴史の学び方」を活用し、追究、探究を深める科目

- 我が国の歴史にかかわる様々な分野に着目し、自ら課題を設定して考察したり、選択や判断について構想する力
- 持続可能な社会づくりに向けて、歴史の展開の総合的な理解を踏まえて、地域や日本、世界の在り方を意欲的に探究しようとする態度

新必修科目 「歴史総合(仮称)」

- 現代的な諸課題の背景にある歴史を、近現代の歴史の転換に着目して考察する。
- 単元の基軸となる問いを設け、諸資料を適切に活用し、歴史的な見方や考え方をを用いて追究する「歴史の学び方」を身に付ける。

日本史に関わる探究科目(仮称)

○歴史の展開と資料

-原始・古代の日本と東アジア-

アニミズム, 神仏習合, 令外官 等

考古資料や文献資料を踏まえて歴史が叙述されること等の理解をもとに、原始・古代の社会や文化の特色を国際環境と関連づけて考察する。

○歴史の展開と解釈

-中世の日本と東アジア-

荘園・公領, 得宗専制, 国人一揆 等

諸資料を活用して諸事象の意味や意義を解釈する活動等を通して、中世の分立する権力の在り方や、社会変動や文化の主体の多様化などについて、国際環境と関連づけて考察する。

○歴史の展開と説明

-近世の日本と世界-

石高制, 村請制, 大名知行制, 町人文化, 問屋制家内工業, 経世論, 雄藩 等

歴史事象の多様な解釈を根拠や論理を踏まえて説明する活動等を通して、近世社会の安定と動揺、変化への胎動などについて考察する。

○歴史の構造と地域・日本・世界

-近代の日本と世界-

秩禄処分, 金本位制, 超然主義, 憲政の常道, 統帥権, 新体制運動 等

必修科目で学んだ概念などを用い、地域と日本、世界の歴史の相互の関係を地域の資料等を活用して捉え、日本の近代社会の変化と多様な展開について考察する。

○歴史の記録と論述

-現代の日本と世界-

民主化, 55年体制, 中流意識, 経済大国, 市場開放, 国際貢献 等

適切な主題を設けて、根拠となる資料や事象をふまえ、現代の日本を歴史的な視点から探究し、自らの考えを論述する。

<参考>

- ・「歴史総合(仮称)」で習得した「歴史の学び方」を活用し、歴史を構成する様々な要素から総合的に幅広く考察する科目とする。
- ・前近代では、近現代につながる各時代の展開に関わる重要な概念を習得するとともに、我が国の伝統文化への理解を深め、解釈・説明し、多様な資料を活用して歴史を考察し表現する力や「歴史総合(仮称)」で育てた技能を一層高める。
- ・近現代では、「歴史総合(仮称)」で獲得した概念や、前近代の学習で高めた資料に基づいて歴史を解釈・説明し考察する力を活用して、地域と日本、世界を取り巻く諸課題について、地域等の多様な資料を活用し現代につながる諸課題を多面的・多角的に深く追究、探究する。

取り上げることが考えられる題材